

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-12108

(P2012-12108A)

(43) 公開日 平成24年1月19日(2012.1.19)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 77/06 (2006.01)	B 6 5 D 77/06 J	3 E 0 6 0
B 6 5 D 77/10 (2006.01)	B 6 5 D 77/10	3 E 0 6 7
B 6 5 D 77/04 (2006.01)	B 6 5 D 77/04 D	
B 6 5 D 5/50 (2006.01)	B 6 5 D 5/50 B	
B 6 5 D 5/52 (2006.01)	B 6 5 D 5/52 F	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2010-153303 (P2010-153303)	(71) 出願人	000000918
(22) 出願日	平成22年7月5日 (2010.7.5)		花王株式会社
			東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番1 〇号
		(74) 代理人	100076532
			弁理士 羽鳥 修
		(74) 代理人	100101292
			弁理士 松嶋 善之
		(74) 代理人	100107205
			弁理士 前田 秀一
		(72) 発明者	飯島 恵
			東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会 社研究所内

最終頁に続く

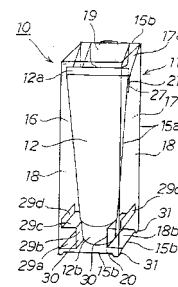
(54) 【発明の名称】 包装体

(57) 【要約】

【課題】平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収納物として箱に收容した場合に、簡易な構成によって、これの回転を効果的に阻止できる包装体を提供する。

【解決手段】立体形状に組み立てられた箱11に平シール状のエンドシール部12aを有するチューブ容器12を收容した包装体10であって、箱11は、正面板16と背面板17と左右一対の側面板18とを含んで形成される。例えば背面板17の上方に連設する背面上方フラップ片17aは、折り曲げられた状態から元の状態に戻ろうとする復元力を押付け付勢力Pとして、チューブ容器12のエンドシール部12aの近傍部分を正面板16の内側面に押し付ける押付けフラップ部21を構成する。エンドシール部12aの近傍部分を押付けフラップ部21によって正面板16の内側面に押し付けることで、箱11の内部におけるチューブ容器12の回転を阻止する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の形状に裁断されたブランクを折曲げ線に沿って折り曲げることで立体形状に組み立てられた箱に、平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収容した包装体であって、

前記箱は、正面板と背面板と左右一对の側面板とを含んで形成されると共に、前記正面板と前記背面板と前記左右一对の側面板のうちの少なくとも 3 枚の板の上辺又は下辺から折曲げ線を介して連設する、複数のフラップ片を折り重ねることで、天面部又は底面部が形成されるようになっており、

前記フラップ片の少なくとも一枚は、折り曲げられた状態から元の状態に戻ろうとする復元力を押付け付勢力として、前記チューブ容器を前記正面板又は前記背面板の内側面に押し付ける押付けフラップ部を備えており、

前記チューブ容器を前記押付けフラップ部によって前記正面板又は前記背面板の内側面に押し付けることで、前記箱の内部における前記チューブ容器の回転を阻止する包装体。

【請求項 2】

前記押付けフラップ部は、前記背面板又は前記正面板の上辺又は下辺と連設する背面フラップ片又は正面フラップ片によって構成されるようになっており、これらを折曲げ線を介して内側に折り返すと共に、折り返した背面フラップ片又は正面フラップ片の外側面と前記正面板又は前記背面板の内側面との間に前記チューブ容器を挟み込んだ状態で、前記背面フラップ片又は前記正面フラップ片による押付け付勢力によって、前記チューブ容器を前記正面板又は前記背面板の内側面に押し付ける請求項 1 記載の包装体。

【請求項 3】

前記押付けフラップ部は、前記左右一对の側面板の上辺又は下辺と連設する側面フラップ片の一部として構成されるようになっており、各側面フラップ片には、前記側面板との間の折曲げ線と平行又は略平行に延設する第 1 補助折曲げ線と、該第 1 補助折曲げ線よりも先端側領域において該第 1 補助折曲げ線と垂直又は略垂直に延設する第 2 補助折曲げ線と、前記第 1 補助折曲げ線における第 2 補助折曲げ線を挟んだ片側部分に形成される切込み線とが設けられていて、該切込み線と前記第 2 補助折曲げ線とによって区画される部分が前記押付けフラップ部となっており、

前記第 1 補助折曲げ線及び前記第 2 補助折曲げ線を折り曲げることで前記押付けフラップ部を前記正面板又は前記背面板の内側面と対向配置させ、前記押付けフラップ部と前記正面板又は前記背面板の内側面との間に前記チューブ容器を挟み込んだ状態で、前記第 2 補助折曲げ線を介して折り曲げたことによる前記押付けフラップ部の押付け付勢力によって、前記チューブ容器を前記正面板又は前記背面板の内側面に押し付ける請求項 1 記載の包装体。

【請求項 4】

前記左右一对の側面板の、前記エンドシール部が配置される上部又は下部とは反対側の下辺又は上辺と連設する側面フラップ片は、これらの先端部が、前記側面板の内側面における、前記側面板との間の折曲げ線から当該側面フラップ片の長さよりも短い間隔離れた位置に接合されることにより、前記側面板の内側面から内側に突出する仕切り台を各々形成するようになっており、

両側の前記側面板の内側面から各々突出する前記仕切り台の間に先端キャップ部を挟み込んだ状態で、チューブ容器が収容される請求項 1～3 の何れかに記載の包装体。

【請求項 5】

前記箱の底面部には、前記正面板と前記側面板との接合角部及び前記背面板と前記側面板との接合角部のうちの少なくとも 2 箇所の接合角部において、前記正面板及び前記側面板、又は前記背面板及び前記側面板に跨る角部脚片が、前記フラップ片との間の折曲げ線よりも下方に突出して設けられている請求項 1～4 の何れかに記載の包装体。

【請求項 6】

前記箱は、透明又は半透明のブランクを用いて形成されることにより、或いは一部に開

10

20

30

40

50

口部が設けられていることにより、収容した前記チューブ容器を視認可能となっている請求項 1～5 の何れかに記載の包装体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、包装体に関し、特に、立体形状に組み立てられた箱に、平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収容した包装体に関する。

【背景技術】

【0002】

例えば、化粧品類、薬品類、菓子類、文房具類や、その他の日用品等を包装する包装箱として、透明な、或いは透明感のあるプラスチック製の箱が、内部の収容物を外側から視認可能な状態で収容する包装容器として多用されている。また、例えば厚紙等によって形成した紙製の箱や、その他の不透明なシート材料からなる箱においても、周面に開口部や切欠き部等を設けて、内部の収容物を外側から視認可能な状態で収容することが行われている。これらの収容物を外側から視認可能な状態で収容する箱は、一般に 4 角形、多角形等の断面形状を備える筒状に形成した箱本体の上下の開口部を、当該開口部の周縁に連設するフラップ片を折り重ねて天面部や底面部を形成することで閉塞する。

【0003】

一方、外側から視認可能な状態で箱に収容される収容物として、例えば円筒形状のものが収容されている包装体の場合、箱の内部で収納物が回転しやすく、例えば収納物に施した装飾や説明書き等が陳列時に見難くなることで、製品としての包装体が粗雑な印象を与える場合があることから、このような回転し易い円筒形状の収容物を、簡易な構成によって回転を阻止した状態で収容することにより、陳列時における美観や、内部の収容物の見易さを向上させた包装体が開発されている（例えば、特許文献 1 参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2007-8560 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

特許文献 1 の包装体では、箱を構成する側面板に連設するフラップ片の形状を工夫するだけの簡易な構成によって、円筒形状の収納物の回転を効果的に阻止できるようになっているが、例えば収容物として、平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収容する場合には、フラップ片によってチューブ容器を両側から挟み込むことが困難になることから、このような平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収納物として箱に収容した場合に、これの回転を効果的に阻止できるようにする新たな技術の開発が望まれている。

【0006】

本発明は、平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収納物として箱に収容した場合に、簡易な構成によって、収容されたチューブ容器の回転を効果的に阻止することのできる包装体を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明は、所定の形状に裁断されたブランクを折曲げ線に沿って折り曲げることで立体形状に組み立てられた箱に、平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収容した包装体であって、前記箱は、正面板と背面板と左右一对の側面板とを含んで形成されると共に、前記正面板と前記背面板と前記左右一对の側面板のうちの少なくとも 3 枚の板の上辺又は下辺から折曲げ線を介して連設する、複数のフラップ片を折り重ねることで、天面部又は底面部が形成されるようになっており、前記フラップ片の少なくとも一枚は、折

10

20

30

40

50

り曲げられた状態から元の状態に戻ろうとする復元力を押付け付勢力として、前記チューブ容器を前記正面板又は前記背面板の内側面に押し付ける押付けフラップ部を備えており、前記チューブ容器を前記押付けフラップ部によって前記正面板又は前記背面板の内側面に押し付けることで、前記箱の内部における前記チューブ容器の回転を阻止する包装体を提供することにより、上記目的を達成したものである。

【発明の効果】

【0008】

本発明の包装体によれば、平シール状のエンドシール部を有するチューブ容器を収納物として箱に収容した場合に、簡易な構成によって、収容されたチューブ容器の回転を効果的に阻止することができる。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明の好ましい第1実施形態に係る包装体の構成を説明する斜視図である。

【図2】本発明の好ましい第1実施形態に係る包装体の箱を形成するためのブランクの展開図である。

【図3】本発明の好ましい第1実施形態に係る包装体の構成を説明する要部断面図である。

【図4】本発明の好ましい第1実施形態に係る包装体の構成を説明する、箱の上端開口を閉塞する前の状態の要部斜視図である。

【図5】本発明の好ましい第2実施形態に係る包装体の構成を説明する要部斜視図である。

【図6】本発明の好ましい第2実施形態に係る包装体の箱を形成するためのブランクの要部展開図である。

【図7】本発明の好ましい第1実施形態に係る包装体の他の構成を説明する要部断面図である。

【図8】(a)は本発明の他の実施形態に係る包装体を例示する斜視図、(b)はブランクの展開図、(c)は箱の組立て状況を説明する横断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

本発明の好ましい第1実施形態に係る包装体10は、図1に示すように、透明なプラスチックからなる縦長の六面体状の箱11の内部に、収容物として例えば化粧用の乳液が入ったチューブ容器12を収容してなるものである。また、本第1実施形態の包装体10を構成する箱11は、当該箱11を形成可能な所定の形状に裁断された、一枚の薄板状のシート材料であるプラスチック製のブランク14(図2参照)を用いて、六面体状の箱として組み立てられる。さらに、組み立てられた箱11の内部には、その端に平シール状のエンドシール部12aを有すると共に、他端にキャップを備える先端キャップ部12bを有する合成樹脂製のチューブ容器12が、先端キャップ部12bを下方に配置した倒立状態で収容されている。本第1実施形態の包装体10は、箱11の内部に相当の遊びを持って収容されたチューブ容器12が箱11の内部で回転するのを、簡易な構成によって効果的に阻止できる機能を備える。

【0011】

すなわち、本第1実施形態の包装体10は、図2に示すような所定の形状に裁断されたブランク14を折曲げ線15a、15bに沿って折り曲げることで立体形状に組み立てられた箱11に、平シール状のエンドシール部12aを有するチューブ容器12を収容した包装体である。図1に示すように、箱11は、正面板16と背面板17と左右一对の側面板18とを含んで形成されると共に、正面板16と背面板17と左右一对の側面板18のうちの少なくとも3枚の板(本第1実施形態では4枚の板)の上辺又は下辺から折曲げ線15bを介して連設する、複数のフラップ片16a、17a、18a、16b、17a、18b(図2参照)を折り重ねることで、天面部19又は底面部20が形成されている。フラップ片16a、17a、18a、16b、17a、18bの少なくとも一枚(本第1

10

20

30

40

50

実施形態では背面上方フラップ片 17 a) は、折り曲げられた状態から元の状態に戻ろうとする復元力を押付け付勢力 P として、チューブ容器 12 を正面板 16 又は背面板 17 (本第 1 実施形態では正面板 16) の内側面に押し付ける押付けフラップ部 21 を備えており (図 3 参照)、チューブ容器 12 を押付けフラップ部 21 によって正面板 16 又は背面板 17 (本第 1 実施形態では正面板 16) の内側面に押し付けることで、箱 11 の内部におけるチューブ容器 12 の回転を阻止するようになっている。

【0012】

また、本第 1 実施形態では、押付けフラップ部 21 は、背面板 17 の上辺と連設する背面上方フラップ片 17 a) によって構成され、これを横方向折曲げ線 15 b を介して内側に折り返すと共に、折り返した背面上方フラップ片 17 a) の外側面と正面板 16 の内側面との間にチューブ容器 12 のエンドシール部 12 a 若しくはその近傍部分を挟み込んだ状態で、背面フラップ片 17 a) による押付け付勢力 P によって、エンドシール部 12 a 若しくはその近傍部分を正面板 16 の内側面に押し付ける (図 3 参照)。

【0013】

本第 1 実施形態の包装体 10 を構成する箱 11 は、図 2 に示す、一枚のプラスチック製の透明なブランク 14 を用いて形成される。ブランク 14 は、プラスチックとして例えばポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート、ポリ塩化ビニル、ポリスチレン等からなる、好ましくは 0.1~1mm、更に好ましくは 0.3~0.8mm の厚さを備える薄板状のシート材料である。ブランク 11 は、側縁部を把持して片持ち状に水平に延設させた場合でも、折れ曲がることなく滑らかに湾曲した状態を容易に保持できる程度の保形剛性及び弾性を備えると共に、手の力で容易に折り曲げることができる程度の変形性を備える。

【0014】

ブランク 14 は、六面体状の箱 11 を展開した所定の形状となるように、例えば薄板状のプラスチックシートを打ち抜いて裁断することで容易に形成される。ブランク 14 には、例えば半切れ線や罫線からなる縦方向折曲げ線 15 a や横方向折曲げ線 15 b、或いは全切れ線からなる切込み等が適宜の位置に設けられていることで、六面体状の箱 11 を容易に組み立てることができる。

【0015】

ここで、本第 1 実施形態のブランク 11 では、例えば縦長の略長方形の正面板 16 の両側に、縦方向折曲げ線 15 a を介して縦長の略長方形の側面板 18 が各々連設している。図 2 の展開図における左側の側面板 18 の側方には、縦方向折曲げ線 15 a を介して縦長の略長方形の背面板 17 が連設している。背面板 17 の左側の側方には、縦方向の折曲げ線 15 a を介して縦長の略長方形の接合側面板 22 が連設している。

【0016】

図 2 の展開図における正面板 16 の上方には、横方向折曲げ線 15 b を介して正面上方フラップ片 16 a が連設している。正面上方フラップ 16 a の上方には、横方向補助折曲げ線 15 c を介して天面部差込フラップ 23 が連設している。天面部差込フラップ 23 は、正面上方フラップ 16 a よりも横幅が狭くなっており、天面部 19 を形成する際に、背面上方フラップ片 17 a に設けられた差込開口 24 を介して、背面板 17 の内側面に沿って差し込まれる (図 1、図 4 参照)。天面部差込フラップ 23 と正面上方フラップ片 16 a との間の横方向補助折曲げ線 15 c には、これの中央部分につば部形成切込み 25 a が形成されている。このつば部形成切込み 25 a には、天面部 19 を形成する際に、背面上方フラップ片 17 a の差込開口 24 の内側に設けられた補助差込片 26 が差込まれ係止される。

【0017】

一对の側面板 18 の上方には、横方向折曲げ線 15 b を介して側面上方フラップ片 18 a が各々連設している。側面上方フラップ片 18 a は、天面部 19 を形成する際に、正面上方フラップ片 16 a の内側に重ねて折り込まれる。

【0018】

10

20

30

40

50

背面板 17 の上方には、横方向折曲げ線 15 b を介して背面上方フラップ片 17 a が連設している。背面フラップ片 17 a は、その長さ L1 が、側面板 18 の巾 L2 より長くなっていることが好ましい。背面上方フラップ 17 a の上方には、横方向補助折曲げ線 15 c を介して先端フラップ片 27 が設けられている。本実施形態では、背面上方フラップ 17 a と先端フラップ片 27 とが一体となって、横方向折曲げ線 15 b 及び横方向補助折曲げ線 15 c を介して折り曲げられた状態から、元の状態に戻ろうとして押付け付勢力 P を生じる押付けフラップ部 21 を構成している。また、背面上方フラップ片 17 a には、上述のように、天面部差込フラップ 23 を背面板 17 の内側面に沿って差し込ませるための差込開口 24 や、天面部差込フラップ 23 の基端部のつば部形成切込み 25 a に差込み係止される補助差込片 26 が設けられている。

10

【0019】

図 2 の展開図における正面板 16 の下方には、横方向折曲げ線 15 b を介して正面下方フラップ片 16 b が連設している。正面上方フラップ 16 b の下方には、横方向補助折曲げ線 15 c を介して底面部差込フラップ片 28 が連設している。底面部差込フラップ片 28 は、底面部 20 を形成する際に、背面下方フラップ片 17 b の横方向折曲げ線 15 b に沿った基端部に設けられた差込用切込み 25 b に差込み係止される。

【0020】

一对の側面板 18 の下方には、横方向折曲げ線 15 b を介して側面下方フラップ片 18 b が各々連設している。本第 1 実施形態では、側面下方フラップ片 18 b は、3 本の横方向補助折曲げ線 15 c を介して第 1 フラップ部 29 a と第 2 フラップ部 29 b と第 3 フラップ部 29 c と第 4 フラップ部 29 d とが長手方向に連設した形状を有している。各側面下方フラップ片 18 b は、底面部 20 を形成する際に、例えば図 1 に示すように、横方向折曲げ線 15 b と共に横方向補助折曲げ線 15 c を谷折り又は山折りに略直角に折り曲げて、先端部の第 4 フラップ部 29 d の裏面を、側面板 18 の内側面における、側面板 18 との間の横方向折曲げ線 15 b から当該側面下方フラップ片 18 b の長さよりも短い間隔離れた位置に、接着剤を用いて接合することにより、対向する一对の側面板 18 の内側面から内側に突出する仕切り台 30 を各々形成する。これによって、チューブ容器 12 は、両側の側面板 18 の内側面から内側に各々突出する仕切り台 30 の間に、エンドシール部 12 a とは反対側の先端キャップ部 12 b を挟み込んだ状態で、箱 11 の内部に収容される。

20

30

【0021】

背面板 17 の下方には、横方向折曲げ線 15 b を介して背面下方フラップ片 17 b が連設している。背面下方フラップ片 17 b の横方向折曲げ線 15 b に沿った基端部には、上述のように、差込用切込み 25 b が設けられている。

【0022】

また、本第 1 実施形態では、箱 11 の底面部 20 には、図 1 に示すように、正面板 16 と側面板 18 との接合角部及び背面板 17 と側面板 18 との接合角部のうち、少なくとも 2 箇所の接合角部（本第 1 実施形態では 4 箇所の接合角部）において、正面板 16 及び側面板 18、又は背面板 17 及び側面板 18 に跨る角部脚片 31 が、下方フラップ片 16 b, 17 b, 18 b との間の横方向折曲げ線 15 b よりも下方に突出して設けられている。

40

【0023】

すなわち、図 2 に示すブランク 14 において、正面板 16、背面板、及び側面板 18 の下端部には、各縦方向折曲げ線 15 a を挟んだ両側の正面板 16 及び側面板 18、或いは背面板 17 及び側面板 18 に跨るようにして、倒立した等脚台形状の角部脚片 31 が、正面板 16、側面板 18、又は背面板 17 と各下方フラップ片 16 b, 17 b, 18 b との間の横方向折曲げ線 15 b よりも下方に突出して設けられている。底面部 20 を形成する際に、等脚台形状の角部脚片 31 の中央部を縦方向折曲げ線 15 a に沿って略直角に折り曲げることにより、略 L 字断面形状を有する角部脚片 31 が、箱 11 の底面部 20 の四隅に設けられる。底面部 20 の四隅に L 字断面形状の角部脚片 31 が設けられていることにより、平坦な面とすることが困難な箱 11 の底面部 20 を、載置面から浮かせた状態に保

50

持して箱 11 を立設させることで、包装体 10 の自立安定性を向上させることが可能になる。

【0024】

チューブ容器 12 を箱 11 に収容して本第 1 実施形態の包装体 10 を形成するには、図 2 に示すブランク 14 を用いて、例えば側面下方フラップ片 18b を内側に折り曲げて仕切り台 30 を各々形成した後に、縦方向折曲げ線 15a を各々略直角に折曲げると共に、接合側面板 22 を内側にして端部に配置された一方の側面板 18 を重ね合わせた状態で、これらを接着剤を用いて接合する。これによって、ブランク 14 は矩形断面の筒状に形成される。

【0025】

次に、背面下方フラップ片 17b を横方向折曲げ線 15b を介して底面部 20 に沿うように折り曲げると共に、これの外側に折り重ねるようにして、正面下方フラップ片 16b を、横方向折曲げ線 15b を介して折り曲げて、これの先端の底面部差込フラップ片 28 を背面下方フラップ片 17b の基端部に設けられた差込用切込み 25b に差込み係止する。これによって箱 11 の底面部 20 が形成される。

【0026】

箱 11 の底部 20 を形成したら、天面部 19 を形成する前の上端開口を介して、背面上方フラップ片 17a を、横方向折曲げ線 15b を介して箱 11 の内側に折り返す。チューブ容器 12 を、先端キャップ部 12b を下方に配置した倒立状態で、折り返した背面上方フラップ片 17a の外側面と正面板 16 の内側面との間に差し込み、先端キャップ部 12b を、一对の側面板 18 の内側に突出する仕切り台 30 の間に挿入配置すると共に、チューブ容器 12 の本体のエンドシール部 12a の近傍部分を、背面上方フラップ片 17a の外側面、より詳しくは先端フラップ片 27 の外側面と正面板 16 の内側面との間に挟みこんだ状態で、チューブ容器 12 を箱 11 の内部に収容する。これによって、チューブ容器 12 は、その下部の先端キャップ部 12b が、仕切り台 30 によって底部の中央部分に位置決めされると共に、上部のエンドシール部 12a の近傍部分は、先端フラップ片 27 を含む背面上方フラップ片 17a の押付け付勢力 P によって、正面板 16 の内側面に押し付けられた状態となる（図 1、図 3 参照）。背面上方フラップ片 17a によって押し付ける部位は、チューブ容器 12 の任意の部位であって良いが、エンドシール部 12a 又はエンドシール部 12a の近傍部分が好ましい。

【0027】

箱 11 の内部にチューブ容器 12 を収容したら、一对の側面上方フラップ片 18a を、横方向折曲げ線 15b を介して天面部 19 に沿うように折り曲げると共に、これらの外側に折り重ねるようにして、正面上方フラップ片 16a を、横方向折曲げ線 15b を介して折り曲げて、これの先端の底天面部差込フラップ 23 を、背面上方フラップ片 17a の差込開口 24 を介して背面板 17 の内側面に沿って差し込む。さらに、天面部差込フラップ 23 の横方向補助折曲げ線 15c に沿った基端部に設けられたつば部形成切込み 25a に、背面上方フラップ片 17a の補助差込片 26 を差込み係止することにより箱 11 の天面部 19 を形成して、図 1 に示すような、本第 1 実施形態の包装体 10 が得られる。

【0028】

そして、上述の構成を備える本第 1 実施形態の包装体 10 によれば、平シール状のエンドシール部 12a を有するチューブ容器 12 を収納物として箱 11 に収容した場合に、簡易な構成によって、これの回転を効果的に阻止することができる。すなわち、本第 1 実施形態の包装体 10 によれば、箱 11 の内側に折り返された背面上方フラップ片 17a は、折り曲げられた状態から元の状態に戻ろうとする復元力を押付け付勢力 P として、チューブ容器 12 のエンドシール部 12a の近傍部分を正面板 16 の内側面に押し付ける押付けフラップ部 21 として機能することができるので、背面上方フラップ片 17a を利用しただけの簡易な構成によって、箱 11 の内部におけるチューブ容器 12 の回転を、効果的に阻止することが可能になる。

【0029】

また、本第1実施形態によれば、チューブ容器12の下部の先端キャップ部12bが、箱の内側に突出する仕切り台30によって底部の中央部分に位置決めされているので、箱11の内部におけるチューブ容器12の回転を、さらに効果的に阻止することが可能になる。

【0030】

図5は、本発明の好ましい第2実施形態に係る包装体10'の要部を示すものである。本第2実施形態の包装体10'は、上記第1実施形態の包装体10と略同様の構成を備えており、チューブ容器12のエンドシール部12aの近傍部分を箱11'の正面板16の内側面に押し付ける押付けフラップ部21'の構成が、上記第1実施形態の包装体10の押付けフラップ部21'と相違している。

10

【0031】

すなわち、本第2実施形態では、押付けフラップ部21'は、図6にも示すように、左右一对の側面板18の上辺と連設する側面上方フラップ片18a'の一部として構成されるようになっており、各側面上方フラップ片18a'には、側面板18との間の横方向折曲げ線15bと平行又は略平行に延設する第1補助折曲げ線32と、第1補助折曲げ線32よりも先端側領域において第1補助折曲げ線32と垂直又は略垂直に延設する第2補助折曲げ線33と、第1補助折曲げ線32における第2補助折曲げ線33を挟んだ片側部分に形成される切込み線34とが設けられていて、切込み線34と第2補助折曲げ線33とによって区画される部分が押付けフラップ部21'となっている。

【0032】

20

そして、横方向折曲げ線15bを介して側面上方フラップ片18a'を天面部19に沿うように折り曲げた後に、第1補助折曲げ線32及び前記第2補助折曲げ線33を各々折り曲げることで、切込み線34と第2補助折曲げ線33とによって区画される押付けフラップ部21'を正面板16の内側面と対向配置させ、押付けフラップ部21'と正面板16の内側面との間にチューブ容器12のエンドシール部12aの近傍部分を挟み込んだ状態で、第2補助折曲げ線33を介して折り曲げたことによる押付けフラップ部21'の押付け付勢力によって、エンドシール部12aの近傍部分を正面板16の内側面に押し付けるようになっていく。

【0033】

本第2実施形態の包装体10'によっても、側面上方フラップ片18a'の一部を利用しただけの簡易な構成によって、押付けフラップ部21'によりチューブ容器12のエンドシール部12aの近傍部分を正面板16の内側面に押し付けることができるので、上記第1実施形態の包装体10と同様の作用効果が奏される。

30

【0034】

なお、本発明は上記各実施形態に限定されることなく種々の変更が可能である。例えば、チューブ容器は、先端キャップ部を下方に配置した倒立状態で箱に収容される必要は必ずしも無く、エンドシール部を下方に配置した正立状態で箱に収容されていても良い。この場合には、正面板や背面板や側面板の下辺部に連設するフラップ片を押付けフラップ部として用いて、正面板や背面板の内側面にエンドシール部の近傍部分を押し付けるようにすることができる。また、エンドシール部の近傍部分は、押付けフラップ部によって背面板の内側面に押し付けて、チューブ容器の回転を阻止するようにしても良い。さらに、箱は、透明又は半透明のプラスチック製のブランクを用いて形成される必要は必ずしもなく、紙製の等の透明でないブランクを用いて形成されるものであっても良い。透明ではない箱であっても、一部に開口部が設けられていて、収容した前記チューブ容器を視認可能となっている場合には、本発明は特に有効である。

40

【0035】

また、先端キャップ部を挟み込む仕切り台や、箱の底面部の接合角部に配置される角部脚片は、必ずしも設ける必要はない。

【0036】

さらに、上記第1実施形態では、正面上方フラップ16aに連設する天面部差込フラッ

50

ブ 2 3 を背面板 1 7 の内側面に沿って差し込むことができるように、背面上方フラップ片 1 7 a に差込開口 2 4 を設けているが、図 7 に示すように、天面部差込フラップ 2 3 を背面板 1 7 の内側面に沿って差し込むことなく、正面上方フラップ 1 6 a を、天面部 1 9 を越えて背面板 1 7 の上部外周面を外側から覆う位置まで延設させると共に、正面上方フラップ 1 6 a の先端に設けた差込み係止片 3 6 を、背面板 1 7 に設けた係止切込み 3 5 に差込み係止することで、上端開口を閉塞する天面部 1 9 を形成することもできる。これによって、背面上方フラップ片 1 7 a に差込開口 2 4 を形成する必要がなくなる。

【0037】

図 8 (a) は、本発明の他の実施形態に係る包装体 5 0 を例示するものである。本他の実施形態の包装体 5 0 では、一枚の薄板状のシート材料として、図 8 (b) に示す不透明な紙製のブランク 5 1 を用いて、天面部 5 2 が正面板 5 3 側に向けて斜めに傾斜する傾斜面となった、略六面体状の箱 5 4 が組み立てられる。組み立てられた箱 5 4 の内部には、図 1 に示す上記第 1 実施形態の包装体 1 0 と同様に、平シール状のエンドシール部 1 2 a を有すると共に、先端キャップ部 1 2 b を有する好ましくは合成樹脂製のチューブ容器 1 2 が、先端キャップ部 1 2 b を下方に配置した倒立状態で収容されている。

【0038】

箱 5 4 の内側底部には、一对の側面板 5 5 の下方に各々連設する側面下方フラップ片 5 6 を折り曲げることにより、図 1 に示す上記第 1 実施形態の包装体 1 0 と同様に、対向する一对の側面板 5 5 の内側面から各々内側に突出する仕切り台 3 0 が形成されており、これらの仕切り台 3 0 の間に、先端キャップ部 1 2 b を挟み込んだ状態で、チューブ容器 1 2 が箱 1 1 の内部に収容されている。さらに、背面板 5 7 の上方には、押付けフラップ部として機能する背面上方フラップ片 5 8 が連設しており、図 1 に示す上記第 1 実施形態の包装体 1 0 と同様に、背面上方フラップ片 5 8 を内側に折り返すと共に、折り返した背面上方フラップ片 5 8 の外側面と正面板 5 3 や天面部 5 2 の内側面との間にチューブ容器 1 2 のエンドシール部 1 2 a の近傍部分を挟み込んだ状態で、チューブ容器 1 2 が箱 1 1 の内部に収容されている。

【0039】

さらに、正面上方フラップ 5 9 を、天面部 5 2 を越えて背面板 5 7 の上部外周面を外側から覆う位置まで延設させると共に、正面上方フラップ 5 9 の先端に設けた差込み係止片 5 9 a を、背面板 5 7 に設けた係止切込み 5 7 a に差込み係止することで、図 7 と同様に、上端開口を閉塞する天面部 5 2 が形成されるようになっている。

【0040】

そして、本他の実施形態の包装体 5 0 では、図 8 (b) における左側の側面板 5 5 から縦方向折り曲線 6 3 を介して左側に連設して、張出し表示板 6 0 が設けられており、背面板 5 7 には、右側に連続して延設する張出し延設部 6 1 が設けられている。図 8 (c) に示すように、張出し表示板 6 0 の内側面と張出し延設部 6 1 の内側面とを重ね合わせ、接着剤 6 2 を介してこれらを接合することで、図 8 (b) に示すブランク 5 1 から、張出し表示板 6 0 及び張出し延設部 6 1 を側方に張り出させた筒状の立体形状を、容易に形成することができる。

【0041】

これによって、例えばブランク 5 1 の製造業者から、図 8 (b) における右側の側面板 5 5 と正面板 5 3 との間の縦方向折り曲線 6 3 を介して 2 つ折りに折り畳まれると共に、張出し表示板 6 0 と張出し延設部 6 1 の内側面同士を接合して平坦な状態で納入されたブランク 5 1 に対して、包装体 5 0 の製造業者は、正面板 5 3 と背面板 5 7 と一对の側面板 5 5 の部分を、立体形状となるように斜め方向に引き起すことで矩形断面の筒状に形成して、チューブ容器 1 2 を収容する箱 5 4 をスムーズに形成することが可能になる。また、例えばブランク 5 1 の製造業者が、予め側面下方フラップ片 5 6 を横方向補助折曲げ線 5 6 a を介して内側に折り畳むと共に、この先端フラップ部 5 6 b を側面板 5 5 の内側面の所定の位置に接合しておくことにより、包装体 5 0 の製造業者は、ブランク 5 1 から矩形断面の筒状を形成する際に、側面下方フラップ片 5 6 を起すことで、仕切り台 3 0 を容

10

20

30

40

50

易に形成することが可能になる。

【００４２】

本他の実施形態の包装体５０によっても、内部に収容したチューブ容器１２の回転を、押付けフラップ部としての背面上方フラップ片５８や、仕切り台３０によって阻止して、上記第１実施形態の包装体１０と同様の作用効果が奏される。また、本他の実施形態の包装体５０によれば、箱５４の背面板５７から側方に張り出して、張出し延設部６１と一体となった張出し表示板６０が設けられているので、この張出し表示板６０に装飾や説明書き等を施すことで、広告宣伝効果を向上させることが可能になると共に、包装体５０の自立安定性を向上させることが可能になる。

【符号の説明】

【００４３】

１０，１０' 包装体
 １１，１１' 箱
 １２ チューブ容器
 １２ａ エンドシール部
 １２ｂ 先端キャップ部
 １４ ブランク
 １５ａ 縦方向折曲げ線
 １５ｂ 横方向折曲げ線
 １６ 前面板
 １６ａ 正面上方フラップ片
 １６ｂ 正面下方フラップ片
 １７ 背面板
 １７ａ 背面上方フラップ片
 １７ｂ 背面下方フラップ片
 １８ 側面板
 １８ａ，１８ａ' 側面上方フラップ片
 １８ｂ 側面下方フラップ片
 １９ 天面部
 ２０ 底面部
 ２１，２１' 押付けフラップ部
 ２２ 接合側面板
 ２３ 天面部差込フラップ
 ２４ 差込開口
 ２７ 背面上方フラップの先端フラップ片
 ３０ 仕切り台
 ３１ 角部脚片
 ３２ 第１補助折曲げ線
 ３３ 第２補助折曲げ線
 ３４ 切込み線
 Ｐ 押付け付勢力

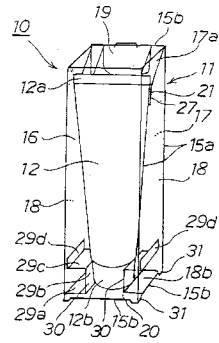
10

20

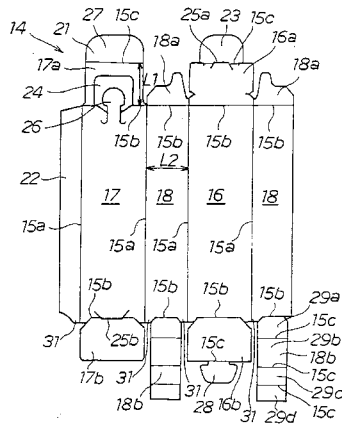
30

40

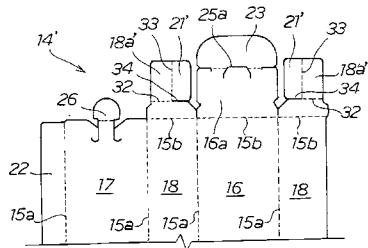
【図 1】



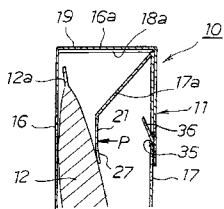
【図 2】



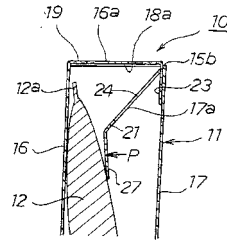
【図 6】



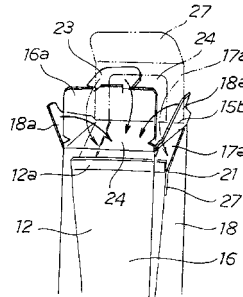
【図 7】



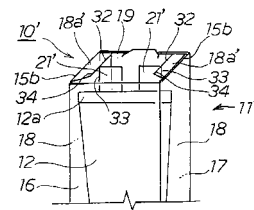
【図 3】



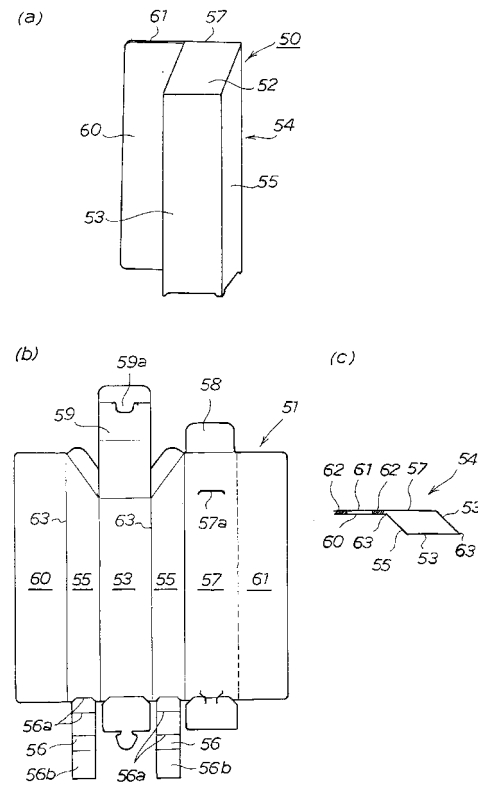
【図 4】



【図 5】



【図 8】



フロントページの続き

(72)発明者 鈴木 英哉

東京都墨田区文花 2-1-3 花王株式会社研究所内

(72)発明者 森田 英里香

東京都墨田区文花 2-1-3 花王株式会社研究所内

Fターム(参考) 3E060 AA03 AB05 BA04 BA05 BC04 CB19 CC03 CF10 DA04 DA30

EA06 EA14

3E067 AA03 AB81 BA05A BA05C BA14B BB14A BB14B BB14C BC03B BC06A

BC06C CA11 EA01 EC11 EE01 EE22 FA04